

■仙台白百合学園での思い出・学校生活

〈学校生活の中で心に残っている経験〉

- ・ 高校1年生の時に、オーストラリアから留学生が来てくれたことです。元気で自由でお茶目で可愛らしくて、みんな自然と彼女の周りに集まっていました。彼女の家族の話や、海外の学校の話聞くことが好きで、来年は私も留学先でそのような経験をするのだと思うとワクワクしました。

そしていざ自分が留学に行ったとき、言葉の壁や文化の違いの大きさに衝撃を受けました。その時、きっと彼女も最初はとても辛かっただろうな、それでもあんなに笑顔で明るくクラスみんなに接してくれていたのだなと気づきました。留学の大変さを知り、あのときもっと彼女にできたことがあったと申し訳ない気持ちになりました。

実際にその立場にならないと気付けないことばかりですが、どんな時も相手の気持ちを想像してみると、そして行動に移すことの大切さを知った経験でした。

彼女とは今でも SNS でつながっていて、ずっと大切な仲間です。

■留学について

〈留学を経験し、どのような学びや成長を得たか〉

- ・ 交換留学で、ニュージーランドの女子校に1年間通いました。多民族国家であるニュージーランドでの学校生活はすべてが新鮮で、多様性にあふれていて、当時の自分には2歩も3歩も進んでいるように映りました。お祈りの部屋があることや、制服は当たり前パンツスタイルもあり、スカートか好きなほうを選択できることなど。「その人らしさ」がかなり尊重されていたと感じました。

日本にいたときは、みんなと同じであることが良いことだと思い込んでいました。留学先では、自分の意見や個性、特技を求められることが多く、周りの人とは違う部分、「自分らしさとは何か」とその時初めて考えました。自分自身とじっくり向き合ったことで、「人はみんな違う！でもそこが良いのかも！」と気づくことができました。寛容な人でありたいと心に決めた出来事でした。

〈白百合の留学制度や支援体制を通じて、どのような点を感じたか〉

- ・ 担任の先生がとにかく全力でサポートしてくださいました。それは私たち生徒だけでなく、家族のことも気にかけてくださりました。娘たちが留学に行きさみしい思いをしている親をクラスに集めてくださり、話を聞いてくださり、電話でも悩みを聞いてくださっていたそうです。先生のおかげで、私の母も安心して娘の帰りを待つことができました。

■仙台白百合学園で学んだこと

〈白百合の教育や校風の中で、自身の成長につながったと感じること〉

- ・ 他者への思いやりを学びました。担任の先生と面談があった際、自分の祖母が病気でとても辛いと相談したことがあります。



若葉さん在校時の写真

その時、先生はまっすぐに私を見てうなずきながら、涙を流して話を聞いてくださいました。話を聞いてもらえたことだけで私はとても幸せで、心が軽くなりました。それだけで十分なのですが、後日驚きの出来事がありました。なんと先生は、入院しているため学校行事を見に来られなくなった祖母のために、私の学校での写真をまとめたアルバムを作ってくださいました。そこには、友人と楽しそうに過ごす私の様子が何枚も写っていました。

病室に行って、アルバムを届けたときの祖母の笑顔が忘れられません。私の学校での姿を写真で見られたことはもちろんですが、こんなに温かい心を持った先生のもとで自分の孫が学んでいることが嬉しいと涙を浮かべて話していました。

今でもこの出来事を思い出しては、温かい気持ちになります。そして、先生からいただいた優しさを、自分も周りのたくさんの人に与えようとずっと心に決めています。

〈在学中に培った価値観や学びが、現在の仕事や活動にどのように生かされているか〉

•まさに先ほどのエピソードのように、仙台白百合でたくさんの優しさや愛をいただきました。その分、自分も周りの人を大切にするように心がけています。

■現在のご活動について

〈現在のお仕事や活動を選ばれたきっかけ〉

•小学校2年生のときに経験した東日本大震災がきっかけで、マスコミに興味を持ちました。印刷機能を失っても、手書きの新聞を作って情報を届けようとする新聞記者、テレビを通して避難を呼びかけるヘルメット姿のアナウンサーの姿が印象的でした。当時は誰もが慌てていて、自分自身も不安で押しつぶされそうな中で、そのようなカッコいい大人の姿に憧れをいただきました。

〈今後、挑戦してみたいことや目指していること〉

• 自分の言葉を通して、誰かを安心させられるアナウンサーを目指しています。東日本大震災の時、いつも冷静な周りの大人たちが慌てている姿を見てとても不安な気持ちになりました。その時に、余震で揺れるスタジオの中でもまっすぐとこちらを見て情報を届けるアナウンサーの姿を見て「この人が情報を伝えてくれているうちは大丈夫なのかもしれない」と心を落ち着かせることができました。自分の言葉や適切な呼びかけを通して、誰かの役に立てる日を夢見て日々精進しています。

■在校生・受験生へのメッセージ

〈在校生や、これから白百合を目指す皆さんに向けてメッセージ〉

• 高校の3年間は、私の人生の中で1番楽しい時間でした。留学や受験など、その時その時では辛いことや悩みもありましたが、振り返ってみると全てがかけがえのない経験だったと感じます。今は不安でも、素晴らしい未来が待っています。一步踏み出す勇気を！